

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市日野南地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

港南区の西南側に位置し栄区と隣接しています。エリアの真ん中を鎌倉街道が縦断し、街道沿いに住宅地が広がっています。横浜横須賀道路や環状線へのアクセスは良く、自家用車利用者には便の良い地域ですが、最寄駅（港南台）への交通手段は徒歩かバス利用が主となっています。

昭和30年代～40年代にかけて開発された住宅街のほとんどは丘陵地に存在し、高齢者の買い物や通院、外出の妨げとなっています。

開発時に入居した年代が高齢期を迎え、高齢者単身世帯や高齢者二世帯も増加しており、高齢化率が40%を超える地域も出てきています。病気や入院をきっかけに介護申請を行うケースも多く、介護保険サービス以外の配食、買い物の支援、介護タクシー等のニーズが高い地域でもあります。

担当地域には二つの連合が存在し、防災や見守りを中心に福祉活動の取り組みが積極的に行われている一方、連合に加入していない自治会もあり、エリア内にまんべんなく情報発信をおこなうためには解決する課題があります。

地域交流エリアと包括担当エリアが一部違うため、他ケアプラザとの情報共有や連携が必要な地域でもあります。

今年度は第3期地域福祉保健計画の初年度にあたり、地域の課題に応じた支援ができるように地域の特性・課題を把握し、各事業で連携して福祉・保健活動に取り組みました。

日野地区では健康づくりをテーマに取り組みが進められ、未連合地域への声かけも活発に行われました。地区全体の取り組みとして2回実施された「日野地域づくり健康ウォーキング」は、それぞれ50名以上が参加され、自治会町内会の枠を超えた交流に繋がりました。

日野南地区では、見守り・支えあいが積極的に行われています。

地域内のお店、事業所から、住民によるサポーター制度まで、フォローアップや懇談会の開催などを通じて地域に根差した継続的な活動として定着してきました。

また、10月から港南区内で一斉に取り組みが始まった「ひまわりホルダー」では、113名に登録いただきました。ケアプラザを知っていただく機会になり、エリア内の現状把握につながりました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

来館される方が安心して利用いただけるよう、また安全で快適に利用していただけるよう、建物、設備の保守管理に努めました。

◆日常の清掃は障がい者日中活動事業と契約し館内の清潔を保ち、来館される方に気持ち良く過ごしていただけるよう努めました。

また、日々の清掃の他、業者による定期清掃を毎月行い、施設の美化に努めました。建物周りはシルバー人材センターを活用し、植栽の剪定を行い外観維持に努めました。

◆建築・設備は、専門業者による定期点検を計画に基づき行いました。また、日々の館内巡視を行い破損箇所や故障箇所を早期に発見し、迅速に対応しました。

◆夜間の施設管理は警備会社と契約し、安全管理に努めました。

◆感染症対策として玄関入口・トイレ・各部屋には手指消毒剤を設置し館内の衛生管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザ全体で連携を密に取り、情報の共有化を行い効率的な運営を推進しました。

◆法人本部と業務の役割分担を行い、事務処理の効率化を図りました。

◆社内メールを活用し情報共有を行いました。

◆資源の有効活用を心がけ、ムダをなくし経費削減に努めました。

◆空調器は温度設定を行い、節電に努めました。

◆施設間の連絡は同一の通信会社の携帯を利用し通信料の削減に取り組みました。

ウ 苦情受付体制について

利用者及び地域の方からの要望や苦情に対し迅速かつ適切に対応するため「苦情解決責任者」の基、各事業に苦情受付の専任者を配置し、客観性・透明性を確保するため第三者委員 2 名を設けました。

◆要望や苦情を改善につなげるために、サービス全体に対する「利用者アンケート」を実施し、寄せられたご意見・ご要望には速やかに対応改善を行いました。

◆来館しやすい環境づくりとして、明るい挨拶・親切・丁寧な対応を心掛けました。

◆適切な運営が出来るよう、日常の会話の中からご意見やニーズを受け止め、改善につなげました。

◆苦情は貴重な意見と受け止め、業務改善を行い、サービスの向上に努めました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時マニュアルを整備し、利用者の安全確保及び危機管理に努めました。

また、その都度課題を挙げだし、適切な対応が図れるように取り組みました。

- ◆施設内及び周囲の巡回点検を行い、閉館後は委託契約している警備会社を活用し防犯に努めました。
- ◆防災責任者を設置し、消防設備点検に基づき、巡回点検を行い、安全管理に努めました。
- ◆ケアプラザでの防災訓練を年2回行い、誰もが緊急時に対応できるよう役割分担を行い実施しました。訓練後は課題を挙げだし、よりの確な対応ができるよう検討を行いました。ケアプラザ防災訓練の他、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域との連携が図れるよう努めました。
- ◆火災及び災害が発生した時に迅速な対応が出来るよう、自衛消防隊を編成し、任務分担をわかり易くしました。
- ◆職員全員にAED研修、感染症予防研修を行いました。

オ 事故防止への取組について

施設内の安全配慮を心掛け、事故防止に取り組みました。

- ◆日々の業務の中で、ミス・ヒヤリハットを挙げだし原因分析・対処を検討し、全体周知をし職員間で情報共有しました。
- ◆ヒヤリハットを集計・分析し予防に努めました。
- ◆事故が発生した場合は速やかに対応、報告しました。対応後は原因分析を行い再発予防に努めました。
また、事例を法人全体で共有しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

「個人情報保護管理規定」「個人情報保護に対する基本方針」に基づき業務上の取り扱い事項を作業マニュアルに定め、個人情報保護に努めました。

- ◆職員の入職時には必ず個人情報保護管理に関する規則を定め、「秘密保持誓約書」を活用し、個人情報の保護に努めました。
- ◆個人情報を含む郵便物など送付する時は2名以上の職員で内容・宛名をチェック表を用いて二重確認しました。
- ◆個人情報が入った媒体は必ず鍵が掛かる書庫で保管しました。
- ◆電子媒体はパスワードを設定して管理しました。
- ◆情報を外部に持ち出す時は、データを最小限に留め、持ち出し及び返却時に指定様式用い、職員の二重確認を行いました。

キ 情報公開への取組について

積極的に情報公開に努め、法人内での事業やイベントも公開しました。

- ◆事業計画書や事業報告書・決算書は閲覧できるように受付に設置し、ホームページ上でも公開しました。
- ◆広報誌やチラシを活用し情報を提供しました。
- ◆ホームページは常に新しい情報を更新し提供しました。

ク 人権啓発への取組について

身近な問題と提起し、様々な人権に関する啓発を行いました。
人権研修の他、人権週間を活用し事業所内で意識づけを行いました。
館内の特性を活かし、様々な方との交流を図りました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

節電・節水を心がけ、省エネルギー化に努めました。ごみの分別・削減を率先して行い、また、再利用できるものは資源の有効活用を図りました。

- ◆省エネルギーへの取り組みとして、不要な照明の消灯や、使用していないパソコンは電源をオフにして節電に努めました。また、冷暖房は適正温度に設定しました。
- ◆使用しなくなったファイルや画板は再利用して書類管理を行いました。
- ◆両面印刷や裏紙活用を励行し、減量化を目指しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師兼管理者 1名
主任ケアマネジャー 1名
社会福祉士 1名
介護予防プランナー（介護支援専門員） 1名

《目標》

- ・ 介護保険法の理念である自立支援の実現を目指し、家族、サービス事業所や関係機関と連携を取り、高齢者が住み慣れた地域で安心、安全に生活していくことができるよう支援していきます。
- ・ アセスメントを行い、適切に介護保険サービスが利用できるよう、支援を行っていきます。地域の社会資源を可能な限りケアプランに盛り込むことができるよう計画作成を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域の福祉保健関係者や介護保険事業所と連絡を密に取りながら迅速に必要なサービスに繋ぐことができるように努めます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
142	152	155	157	150	153
10月	11月	12月	1月	2月	3月
152	156	159	156	156	159

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常 勤 1 名（管理者兼務）

《目標》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業者の役割として、保健医療サービス及び福祉サービス事業所と連携を図りながら、利用者の心身の状況や置かれている環境に配慮し、利用者が住み慣れた地域でご本人らしく在宅生活を継続し、自立した日常生活を営むことができるよう支援を行いました。
- ・ 多様な事業者から総合的かつ効果的に利用者に提供されるよう、公正・中立な立場でマネジメントを行ないました。
- ・ 介護保険法令を遵守し、迅速かつ適切なマネジメントを行い、要介護状態になった際にも、迅速な対応をし、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるよう、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 居宅サービス計画の作成にあたっては、適切な方法によりアセスメントの実施や家庭訪問、ケアプラン実施状況のモニタリング、サービス担当者会議の開催などを定期的に行い、適切なサービスの提供を実施しました。
- ・ 区役所、地域包括支援センターに問題点や課題などについて積極的に相談・意見を求め、助言やアドバイスを頂くことで、より良いケアマネジメントが出来るように努めました。
- ・ 介護保険・認定調査員としての業務では（概算契約：年間 100 件）、区役所からの委託依頼時の際、迅速な対応に努めました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
36 (6)	38 (5)	35 (5)	36 (5)	40 (5)	37 (7)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
33 (8)	34 (8)	34 (8)	35 (8)	33 (8)	32 (7)

● 地域密着型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 「通所介護計画」などの作成
- 生活相談（相談援助など）
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）
- 送迎サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● サービス料金

・ 1割負担分

（要介護1）	688円
（要介護2）	812円
（要介護3）	937円
（要介護4）	1,062円
（要介護5）	1,187円

・ 2割負担分

（要介護1）	1,375円
（要介護2）	1,623円
（要介護3）	1,874円
（要介護4）	2,123円
（要介護5）	2,374円

● 加算

・ 1割負担分

（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	7円
（介護職員処遇改善加算Ⅰ）	

・ 2割負担分

（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	13円
（ご利用単位数に40/1000を乗じた単位数）	

※以下希望者のみ

（入浴加算）	54円	（入浴加算）	108円
（個別機能訓練加算Ⅱ）	60円	（個別機能訓練加算Ⅱ）	120円

● 食費負担

700円

● おむつ代費用

● 個別プログラムや行事などの個人希望の費用

《事業実施日数》 週5日

《提供時間》 10:00 ~ 15:10

《職員体制》※介護予防通所介護第1号事業（横浜市通所介護相当サービス）と兼務

生活相談員 2人（常勤1人、非常勤1人）※介護職員兼務

介護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）※生活相談員兼務

機能訓練指導員（看護師）3人（非常勤3人）一日1人体制のローテーション勤務

（合計）常勤1人、非常勤職員7人（合計8人）

《目標に対する取組み状況》

利用者、利用者家族の生活上困っていることを積極的に聞き取り、デイサービスで対応可能なものは実践しました。そのことによる利用者の過ごし方の充実、生活の質の向上と、利用者家族・関係者の介護負担の軽減に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

①利用者の意向を確認しながら、創作活動や簡単なテーブルゲームなどの個別プログラムを実施しました。

②制作活動のレクリエーションを利用者みなさんで行っていただきました。

③近隣の小学生の交流学習や中学生、高校生の職業体験を受け入れ、交流の機会を

設けました。

- ④地域のボランティアグループの方々に定期的に活動していただき、交流を深めました。
- ⑤畳敷きのきれいなお風呂で安全に楽しみながら入浴をしていただきました。
- ⑥食事を四季折々の松花堂弁当で提供し、楽しんでいただきました。
- ⑦定期的にアート活動として、絵画指導など創作的活動を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	180	173	167	168	177
10月	11月	12月	1月	2月	3月
170	176	165	162	175	187

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 「通所介護計画」などの作成
- 生活相談（相談援助など）
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）
- 送迎サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 運動器機能向上に係る個別計画の作成

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● サービス料金			
・ 1割負担分		・ 2割負担分	
（要支援1）	1,766円	（要支援1）	3,531円
（要支援2-週1回程度）	1,792円	（要支援2-週1回程度）	3,583円
（要支援2-週2回程度）	2,034円	（要支援2-週2回程度）	4,066円

● 加算			
・ 1割負担分		・ 2割負担分	
（サービス提供体制強化加算Ⅱ）		（サービス提供体制強化加算Ⅱ）	
（要支援1）	26円	（要支援1）	52円
（要支援2-1回程度）	26円	（要支援2-1回程度）	52円
（要支援2-2回程度）	52円	（要支援2-2回程度）	103円
（介護職員処遇改善加算Ⅰ）		ご利用単位数に40/1000を乗じた単位数）	

※以下希望者のみ

（運動機能向上加算）	242円	（運動機能向上加算）	483円
------------	------	------------	------

- 食費負担 700円
- おむつ代費用
- 個別プログラムや行事などの個人希望の費用

《事業実施日数》 週5日

《提供時間》 10:00 ~ 15:10

《職員体制》※地域密着型通所介護と兼務

生活相談員 2人（常勤1人、非常勤1人）※介護職員兼務
 介護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）※生活相談員兼務
 機能訓練指導員（看護師）3人（非常勤3人）一日1人体制のローテーション勤務

（合計）常勤1人、非常勤職員7人（合計8人）

《目標に対する取組み状況》

利用者、利用者家族のニーズを聞き取り、個々の希望に合わせたプログラムの充実を図りました。また、それぞれの利用者に適した機能訓練のメニューを実施したり、制作活動を行うことで、生活機能向上に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 看護師、生活相談員、介護職員が共同して運動機能向上に係る個別計画を作成し、実施しました。評価と計画の見直しも行いました。
- ② 利用者の意向を確認しながら、創作活動や簡単なテーブルゲームなどの個別プロ

グラムを実施しました。

- ③制作活動のレクリエーションを利用者みなさんで行っていただきました。
- ④近隣の小学生の交流学習や中学生、高校生の職業体験を受け入れ、交流の機会を設けました。
- ⑤地域のボランティアグループの方々に定期的に活動していただき、交流を深めました。
- ⑥畳敷きのきれいなお風呂で安全に楽しみながら入浴をしていただきました。
- ⑦食事を四季折々の松花堂弁当で提供し、楽しんでいただきました。
- ⑧定期的にアート活動として、絵画指導など創作的活動を行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4	4	3	3	2	2
10月	11月	12月	1月	2月	3月
4	5	7	7	6	6

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ◆地域の身近な相談機関としてケアプラザの役割や機能について地域の方に知っていただき、興味を持っていただけるよう、地域ニーズを意識しながら広報紙、チラシや法人のホームページを活用して情報発信を行いました。また、来館者への挨拶や声掛けを積極的に行い、明るく相談しやすい雰囲気づくりを心掛けました。
- ◆高齢者の相談に関しては地域包括支援センターが中心となり、対応しました。
- ◆障がい分野の相談に関しては地域交流部門、包括支援センターが協力して対応し、必要に応じて法人内の相談支援部門を中心に、港南区自立支援協議会と連携して支援しました。
- ◆こどもの相談に関しては、地域交流部門を中心に区役所や区社協、主任児童委員、学校等の各関係機関と連携を図り、協議しながら進めました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ◆地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、包括3職種で定期的にミーティングを行い、地域情報を共有しました。地域にあったらいいなという社会資源についての検討と必要とされる取組みについて話し合いを行いました。
- ◆「日野地域づくり意見交換会」「日野南地域支えあいネットワーク連絡会」に企画会から参加し、両地区の第3期地域福祉保健計画の推進に向けて5職種で支援しました。
- ◆ミニデイサービス、認知症予防教室、お茶のみサロン等の自主事業を包括支援センターと地域活動交流部門が共催で行いました。各事業で役割分担をし、地域交流、包括それぞれの部門ミーティングで活動状況を共有し、ボランティアの活動と地域ニーズを繋ぐことができるよう意識しながら運営しました。

3 職員体制・育成

- 事業ごとに定められた専門職員を配置し、新たに設けられた生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターを含め、5職種にて事業運営を行いました。
- ◆各事業間の連携を深め、情報共有を図るとともに、事務・労務職員を配置し、より円滑に業務遂行できるようにしました。
 - ◆研修へは積極的に参加し、資質向上に努めました。また、得た知識は伝達講習を行い職場内の知識向上につなげました。
 - ◆事故防止・個人情報保護・倫理綱領・感染症対策やAEDを含む緊急時対応の研修を行い、良質なサービスの提供ができるよう、職員の意識向上を図りました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ◆ 平成 27 年度の第 3 期地域福祉保健計画策定で培った関係性を大切にしながら、日野、日野南両地区の地域課題の解決、地福計画の推進を支援しました。また、各団体の定例会、イベントや行事に所長をはじめ 5 職種が積極的に参加して、状況把握や地域課題の共有に努めると共に、生活支援コーディネーターを中心に地域資源の情報を集約しました。
「日野地域づくり連絡会」では健康ウォーキングを実施（10 月、3 月）、「日野南地域支えあいネットワーク連絡会」では、高齢者の支え合いの取り組みに加え、子ども、障がい児者に対する課題の気づきがみられ、対象を拡げた新たな取り組みへの一歩を踏み出すことができました。
- ◆ 港南台地域ケアプラザと共に港南台子育て連絡会に参加し、イベント、勉強会の企画開催を支援しました。貧困、虐待などの地域課題に対する取り組み、自主事業への協力要請などによって、関係を深めることができました。
また、日下地域ケアプラザとは、状況把握をしづらい未連合の地区との関係づくりに努め、「認知症予防講座」を共催で実施しました。
- ◆ 港南区自立支援協議会のメンバーとして、障がい児者を取り巻く課題を共有し、様々な支援機関の協力を得て「障がい理解啓発講座」を実施することができました。また、ヘルパー事業所や小中学校への出前講座（人権研修）にも積極的に参加し、若い世代に対する障がい理解啓発に努めました。
- ◆ 「港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつつこ」は、参加者は少なかったものの、区社協や区内ケアプラザ、関係機関の協力により、充実したプログラムを実施することが出来ました。また、初めて実施した「お茶べりタイム」が保護者、民生委員双方に好評で、「地域の中で助けあえる関係づくりの一助」という「なつつこ」の新たな目的を見出すことができました。

5 区行政との協働

- ◆ 日野地区、日野南地区の支援チームに 5 職種と所長で参加しました。専門職の立場からの情報が提供され、より深い情報共有を行うことができました。
- ◆ 区役所、区社協と共に「日野地域づくり連絡会」「日野南地域支えあいネットワーク連絡会」の事務局として活動が円滑に行われるよう支援しました。
- ◆ 区役所と包括支援センターで定期的にカンファレンスを行い、個別ケースの検討や課題解決に努めました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ◆ 来館者や地域の方々の興味、関心事も情報のひとつと捉えて積極的に言葉を交わし、福祉保健活動への関心意欲につながるような話題提供を心掛けました。
- ◆ 登録団体の活動、地域で取り組まれている活動や施設情報等の様々な地域資源を、包括職員、生活支援コーディネーターと協力して集約し、情報を共有しました。
- ◆ 連合自治会町内会、地区社協、民児協等の様々な活動に参加して、地域活動に携わる方々の想いや地域の課題、状況を把握すると共に、課題解決や地域活動に関する情報提供を行ないました。
- ◆ 広報「みなみのかぜ」を毎月発行し、ケアプラザのお知らせに留まらず、日野、日野南両地区の地域活動の報告や、福祉保健活動に関心を持ってもらえるようなテーマ設定を心掛けました。また、ホームページには、コメント付きの自主事業紹介や、ボランティア募集情報も掲載し、新鮮な情報を提供できるよう定期的な更新を心掛けました。
- ◆ 子育て支援に関する情報をキッズスペースに集約し、必要な情報が手にとりやすいよう工夫しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ◆ 平成 29 年度の施設マニュアル改正に伴い、「利用団体交流会」を兼ねた説明会を実施しました。貸館登録団体が自発的に福祉保健活動に取り組めるよう、広報「みなみのかぜ」の記事を活用して具体的な活動例を挙げて呼びかけ、福祉保健活動に対する意欲を引き出すことができました。
- ◆ 子育て支援事業の調理実習や「みなみ・夏・まつり」での工作指導など、自主事業の企画に貸館登録団体等の取り組みを活かせる内容を取り入れ、福祉保健活動に発展させられるよう働きかけました。
- ◆ 「秋のコンサート」を実施。音楽や踊りの団体の他、子ども達の空手や障がい者のグループ等幅広い分野の団体に発表の機会を提供し、参加団体のやりがいを引き出すと共に障がい理解啓発にも繋がりました。また、「クリスマス作品展」は 6 団体の作品を館内に展示し季節が感じられ好評でした。

3 自主企画事業

様々な世代、立場の方を対象とした事業をバランスを考慮しながら企画し、41 事業を実施しました。事業運営にはボランティアや貸館登録団体に協力を仰ぎ、事業内容の充実を図ると共に、参加者自らが主体的に事業に関われるよう工夫しながら事業を進めました。

- ◆ 事業実施の際には毎回感想シートの記入またはアンケートを実施し、担当職員で振り返りながら事業の展開に活用しました。
- ◆ 子育て支援事業として通年で実施した「手作り講座」は、地域の方々にボランティア講師として協力いただき、多世代交流の機会にもなりました。また、ケアプラザへの来所機会が少ない父親や働く母親も参加出来るよう「子育て世代の安全安心講座（救急法・防災）」を土曜日に開催しました。
- ◆ 年 4 回実施した「あおぞらウォーキング」は、歴史の話を交えながら区内および周辺地区を歩きました。港南歴史協議会を講師に迎えた「ふるさと日野のよもやま話」と合わせて、わが街を知り、愛着を感じるきっかけとなる機会を提供しました。
- ◆ テラスの畑を活用した「トマトクラブ」は、子ども達や障がい児者の野菜収穫体験、子育て支援事業のプランターづくりなど様々な事業と繋がり、高齢者の介護予防事業から多世代交流へ活動を発展させることができました。
- ◆ 障がい児者支援では、港南区自立支援協議会との共催で「障がい理解啓発講座 障がいのこと 知ってみませんか？」を全 3 回で開催し、延べ 92 名が参加されました。40 才以上のグループホーム入居者を対象に昨年度発足した「認知症予防講座 ロールケーキの会」は、在宅の方まで対象を広げて 4 名が新たに登録されました。「秋のコンサート」では堂々とした太鼓演奏を披露してくれました。小学生以下の障がい児と親のための音楽サークル「めばえ」は、課題となっていた保護者の積極性が感じられるようになり自発的に行動する場面が多くなりました。季節のイベント企画の協力などを通して、保護者との信頼関係を築くことができました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

ホームページでのボランティア募集や、広報紙の紙面等で福祉保健活動の呼びかけを行い、今年度は16名が新たにボランティア登録されました。また、貸館利用登録団体を対象に施設利用マニュアル説明会を行い、各団体の特技を活かして意欲的に地域活動に関わる土台づくりに取り組みました。自主事業のお手伝いなど楽しみながら気軽にできる活動から福祉保健活動に関心をもってもらえるよう、環境づくりに努めました。

- ◆ 近隣の小学校2校の館内見学や高齢デイとの交流、中学校2校・高等学校1校の職業体験や、「こうなんなつっこ」等自主事業での高校生、大学生のボランティアの受け入れを行い、若い世代に福祉に関心を持ってもらう機会を提供しました。自主事業「港南ケアプラキッズ」メンバーには、「みなみ・夏・まつり」や高齢デイサービスでのボランティア活動を提案し、多くのメンバーが活動に参加しました。また、近隣の小中学校で実施する「認知症サポーター養成講座」などの福祉教育は、地域のボランティア（キャラバンメイト）と協働で開催しました。
- ◆ 7月に開催した「ボランティア交流会」には41名が参加し、港南区災害ボランティアネットワークの協力で、防災講座「避難所運営ゲーム（HUG）」を実施しました。情報交換、歓談の時間には職員も各グループに入り、活動に対する想いを伺ったり活動の幅を広げる提案をするなど、意欲的に活動を継続できるよう支援しました。
- ◆ 「障がい理解啓発講座」の受講者に「こうなんなつっこ」や特別支援学校でのボランティアを提案し、1名が希望されました。また、日野南小学校地域防災拠点訓練において、要援護者受け入れ訓練の実施に繋げることができました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談
<p>総合相談件数は1188件（訪問260件、相談928件）で27年度比110%でした。相談件数増加の要因としてはひまわりホルダー登録が影響していると思われます（3月末登録件数113件）。ひまわりホルダーの取り組み以外にも毎月発行しているケアプラザの広報や継続的に実施しているサロン等の自主事業の場、講演会など不定期で実施している事業においても包括支援センターの機能について周知する機会を意識的に持ちました。来館者や自主事業参加者に積極的に声掛けをし、気軽に相談できるよう雰囲気づくりに努めました。来館に繋がりにくいと思われる地域については地域の会合やサロン、出張相談会に出向き、包括支援センターの役割をお伝えするとともに地域の情報を収集することができました。紙面や対面など複数の方法で地域包括支援センターが身近な総合相談の窓口であることをPRし、相談件数の増加に向けて総合的に取り組むことができました。</p> <p>高齢者の相談に関しては介護保険関連の相談に限らず、地域包括支援センターの職員が総合的に対応することができました。土日、祝日でも可能な限り相談体制が取れるよう体制を整えています。</p> <p>包括支援センターに寄せられる様々な相談の中には障がいに関する相談、権利擁護に関する相談もありますが、総合的に必要性に応じてタイムリーに各種サービス機関、地域の福祉保健関係者、専門機関に繋ぐことができるよう支援できたと思います。今後も専門機関と良好な関係を保ち、必要な連携を図りながら支援していきます。</p>

地域包括支援ネットワークの構築	昨年之物、～しました、にして残す？
<ul style="list-style-type: none">◆日野地区、日野南地区での支えあいの取り組み状況や課題について、区（高齢支援事業企画）、区社協、地域交流、生活支援体制、包括で情報共有しネットワークを構築して課題解決に向けて取り組みました。◆見守りネットワークや福祉ネットワークの会議等に参加し、地域の方が安心して暮らせる街づくりに向けて専門職の立場から情報発信を行いました。心配な時にすぐに相談できる関係性の構築も視野に入れ、取り組みました。◆高齢者の緊急時や徘徊時に身元や連絡先等が確認できるよう各自治会、町内会の集まりでひまわりホルダーの活用を呼びかけました。（3月末現在 113件登録）◆ケアマネジャーから地域での支えあい活動の情報についての相談も数件あり、情報提供して、地域の支えあい活動に繋げることができた。	

実態把握
<ul style="list-style-type: none">◆地区民児協や見守りネットワーク、福祉ネットワークの会議等の地域の会議に定期的に参加し、地域の福祉保健関係者からの意見の聞き取りや情報交換を通じて地域課題の把握を行いました。◆個別相談に関してはできる限り訪問し、生活環境を含めた実態把握を行いました。生活支援コーディネーターの把握している地域資源と包括支援センターが持っている個別相談についての情報をすり合せ、地域の現状把握を行いました。

2 権利擁護

権利擁護

成年後見制度に関しては本人やご家族の状況を把握した上で、制度の説明から申立ての支援まで必要に応じて支援することができました。個別ケースにおいて行政との連携が必要と判断される場合は、迅速に情報共有を行い対応することができました。高齢者の権利擁護普及啓発講座として遺言相続にまつわる講演会を行いました。地域の方が興味を持ちやすいテーマを選び、効果的に啓発を行うことができたと思います。消費者被害防止、詐欺被害防止のため、ミニデイサービスやお茶のみサロンなどの自主事業の場で、詐欺被害の手口や予防法などの情報提供を行いました。

高齢者虐待

高齢者虐待が疑われるケースにおいては区役所やケアマネジャー、介護保険事業者、民生委員と連携し、役割分担と情報共有、協議を行いながら適切に支援を行いました。些細な変化を情報共有することで高齢者虐待を早期に発見できるよう、様々な地域の会議に出席し民生委員や地域の福祉保健関係者、自治会の方と定期的に顔を合わせ、情報収集を行いました。港南区社福士分科会共催で、早期発見悪化防止のため通所介護や訪問介護事業所連絡会、ケアマネ連絡会で高齢者虐待防止研修を行いました。

認知症

川崎幸クリニックの杉山孝博先生による認知症理解の講座、認知症の人と家族の会神奈川県支部の三橋良博さんの介護体験談の講演会を企画・運営し、地域の方が認知症について知っていただく機会を作るとともに、介護者の方が認知症についての理解をより深めることができるよう支援することができました。28年度も認知症家族の会「あひるの会」を継続実施しています。家族介護者が参加しやすい環境を整え、情報交換や悩みを相談し合う場として活用しています。認知症理解の普及啓発としては、地域のキャラバンメイトと協力して町内会や自治会（4講座）、学校（5校6講座）での認知症サポーター養成講座を実施しました。受講者の理解が深まるよう、受講対象に合わせて伝え方や内容を工夫しました。キャラバンメイトと一緒に講座の企画運営を行い、多くのメイトに役割を担ってもらえるよう工夫して役割分担を行いました。認知症サポータースキルアップ講座を企画・運営し、認知症の人への対応の仕方や参加の場づくりについて学ぶことができました。講座を受講した方が認知症の人の支援活動に取り組むことができるよう引き続き支援していきます。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ◆利用者の持っている力を充分活かせるよう本人・家族の意向を踏まえより具体的な目標設定に心掛け支援しました。その中で介護保険サービス以外のインフォーマな集いの場（ケアプラザ・会館開放による昼食等）の提供等行いました。
- ◆利用者やご家族とコミュニケーションを図りながら個々のニーズを把握し、自立への意欲が維持できるような状態に応じたプラン作成・変更を実施しました。
- ◆適切な支援・サービス提供ができるよう、担当者会議を通して委託しているケアマネジャー・サービス事業所との情報共有・情報交換に努め連携を図りました。
- ◆日常生活支援総合事業移行に伴う説明を分かりやすく行い周知に努めました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ◆民生委員とケアマネジャーの懇談会を開催して、お互いの活動・役割を理解し連携しやすい関係が築けるよう取り組みました。また、地域の社会資源について情報を共有することができました。(民生委員 30 名、ケアマネジャー 20 名)
- ◆民生委員とケアマネジャーの懇談会や初級ケアマネ講座で「民生委員・ケアマネジャー連絡票」の見直しや新規登録を呼びかけ活用につなげました。
- ◆地域の会館に出向き、地域の方々に介護保険制度やケアマネジャーの役割、地域包括支援センターについて情報提供していきます。また、必要な時にスムーズにサービス利用ができるよう区や事業所・その他関係機関との関係を密にしていきます。
- ◆地域の支えあい連絡会や民生委員・児童委員協議会や地区社会福祉協議会の定例会等に参加させていただき情報交換して、地域の取り組みを必要に応じてケアマネジャーに情報提供していきます。
- ◆エリア近隣のケアマネジャーとサービス事業所と虐待をテーマに学び情報交換を行い顔の見える関係作りの第一歩とすることができました。

医療・介護の連携推進支援

- ◆区内の医療と福祉関係者で行う合同研修会「医福ネット」を区内包括主任ケアマネジャー分科会と共催で年 3 回開催しました。
医師、訪問看護、MSWやケアマネジャー、サービス事業所、区の職員等が講座、事例検討会、懇親会等で医療知識の習得と交流の機会を持つことで、連携しやすい関係が作れるよう取り組みました。
(年 3 回 4/28 : 140 名 10/6 : 140 名、2/23 : 148 名)
- ◆協力医の中島先生の個別相談会については、居宅介護支援事業所に FAX や訪問時に情報提供しましたが、活用につながりませんでした。次年度は、別な形でケアマネジャーが相談できる場を提供できるよう検討していきたいと思っております。
- ◆区内包括主任ケアマネジャー分科会で作成した「港南区医療情報シート・マップ」や「ケアマネジャーと医師との連絡票」を初級ケアマネ講座で周知し主治医との連携が図りやすくなるよう呼びかけました。
- ◆地域の薬局、サービス事業所を訪問し、包括の役割の周知やケアマネジャーとの連携についての話をし、利用者支援に活かせるよう取り組みました。
- ◆民生委員とケアマネジャーとの懇談会に在宅医療相談室の方にも参加して頂き在宅医療相談室についての情報提供を行った。また、ケアマネジャーの個別相談でも情報提供し在宅医療相談室の活用につなげるケースがありました。

ケアマネジャー支援

- ◆事業所訪問を行い、ケアマネジャーの抱えている課題解決のためのアドバイスや知識向上のための研修会や勉強会などに参加できるよう情報を提供しました。
- ◆ケアマネジャーが担当する認知症独居や虐待、精神疾患等の支援困難ケースへの対応として、民生委員や区の高齢・障害支援課や生活支援課とも連携し、3職種の専門性を活かしてアドバイスや情報提供、同行訪問等を行いました。
- ◆区の高齢支援課や介護保険課、区内包括主任ケアマネジャー分科会共催で、ケアマネジャーの研修会（初級：施設見学3コース、講座5日間・中級講座1回）を開催し、ケアマネジャーの質が向上と継続的な支援につながるよう取り組みました。
- ◆既存のケアマネジャー自主勉強会グループの後方支援と新たな自主グループ立ち上げに向けて、区内主任ケアマネジャー分科会と共に取り組めました。
- ◆区内主任ケアマネジャー分科会共催でケアマネサロンを年10回開催しました。気軽に勉強できる場を提供し、課題整理表や地域包括ケア病棟、在宅診療等様々な内容で展開しました。（年10回 ケアマネ参加述べ184名）
- ◆区内包括主任ケアマネジャー分科会が、輪番で担当しているケアマネ連絡会（隔月開催）に企画の段階から参加し、ケアマネ連絡会の後方支援を行いました。（奇数月年6回）

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ◆高齢ドライバーについてのテーマで地域ケア会議を開催しました。エリア内の事例を通して、地域の主要メンバーの方々に現状を知っていただき、次年度に運転に関する講座を開催することと地域で取り組めることはないか考えていくきっかけを作りました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ◆介護予防普及強化事業として①運動講師・理学療法士によるロコモ予防②歯科医師による口腔機能向上③管理栄養士による栄養改善④認知症対応型通所介護管理者による認知症予防講座と実践を行いました。
 - ・～心も身体もしなやかに～ 脳活性化いきいきゲーム 5月 2回
 - ・健康体操 2016→6月 3回 ・ウォーキング 10月～11月 3回
 - ・教えて介護予防！～専門職に聞いちゃいます～ 11月 3回
 - ・みんな集まれ！健康体操 29年1月 2回
- ◆介護予防事業として自治会等からの講座依頼に対して要望を踏まえ実施しました。
 - ・健康講座 4月 1回
 - ・日野南地区社協共催 シルバープランニング講座 11月 2回
 - ・本山式 椅子を使って行う筋トレ 29年1月～3月 1回/週
 - ・腰痛について学ぼう 2月
- ◆事業開催場所に偏りがないように配慮し多くの方に参加して頂けるようチラシの掲示や配布等、周知に努めました。地域の方の「集いの場」づくりの思いを元気づくりステーション立ち上げに向けて支援しました。
- ◆各町内会館の会館開放日（集いの場）等の活性化が図れるよう開催日の訪問を継続し個別相談に対応しました。

6 生活支援体制整備事業

- ◆地域との顔の見える関係づくりとして、日野連合町内会、日野地区社会福祉協議会、日野地区民生委員児童委員協議会、日野町づくり意見交換会、日野地区内の町内会館開放（5町内会）、日野地区福祉ネットワークなどに参加し、情報の交換を行ったほか、日常生活圏域の生活支援について話しあいました。また、日野南連合自治会、日野南地区社会福祉協議会、日野南地区民生委員児童委員協議会、日野南地域支えあいネットワーク連絡会、新規に立ち上げた、ちょこっと助け合い・支え合いサポート・見守りネットなどに参加し、情報の交換を行なったほか、利用促進などについて話しあいました。
- ◆地域資源の整理としては、日野地区の団体やグループ等が会館等で行っている自主活動について、調査・ヒアリング等を行い、合計80団体・グループの活動状況を把握しました。日野南地区については49団体・グループの活動状況を把握することが出来ました。また、上記のほか、自治会館等を利用している26のクラブ・サークルについても、把握することが出来ました。ほかにも、日野南地区内の「ひのみなみ見守りネット」登録43店舗、その他コンビニ2店舗のニーズ調査、ヒアリングを行いました。そのほか、ケアプラザに登録している66団体を「地域活動把握のための共通フォーム」に整理しリスト化しました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：日野南地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	生活支援体制整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援		
収入	指定管理料等収入	18,757	23,384	142			5,789
	介護保険収入				4,673	5,643	
	その他	605	196	0	4,503	601	0
	介護予防ケアマネジメント費				4,503		
	自主事業参加費	586	191				
	雑収入	19	5				
	認定調査委託料 原案作成委託料					601	
収入合計(A)	19,362	23,580	142	9,176	6,244	5,789	
支出	人件費	12,471	23,890			6,318	3,575
	事務費	2,172	1,104			464	
	事業費	857	348	146			96
	管理費	3,684	979			612	
	その他	1,575	774	0	6,173	0	0
	指定額等	164	265				
	介護予防プラン作成委託料				3,154		
	介護予防ケアマネジメント費作成委託料				3,019		
	消費税	998					
	返還額	413	509				
支出合計(B)	20,923	27,095	146	6,173	7,394	3,671	
収支 (A) - (B)	-1,561	-3,515	-4	3,003	-1,150	2,118	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に訂正した後、他事業者へ委託料として支払つた分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
うたごえサロン 「つばさ会」	地域	182,454	3,854	178,600	84,000	0	お茶・お菓子・雑費 98,454
	80						
	200 (1回あたり)						
うたごえサロン 「日野南ハーモニー」	地域	126,476	4,276	122,200	77,000	0	お茶・お菓子・雑費 49,476
	50						
	200 (1回あたり)						
男のセカンドステージの 生き方を探る	男性	111,995	(社協助成金20,000円) 295	111,700	20,000	45,095	保険料、雑費 46,900
	30/20(いずみの会)						
	2000/500(いずみの会)						
男のセカンドステージの 生き方を探る(公開講座) 「神話の世界」	地域	0	0	0	0	0	0
	40						
	0						
いずみの会	いずみの会登録者	0	0	0	0	0	0
	20						
	0						
子育てまなび隊☆ 「はぐはぐ」	未就園児親子	42,913	23,413	19,500	26,341	8,278	保険料、雑費 8,294
	15組						
	1500						
ママのための 手づくり講座	未就園児親子	38,669	20,369	18,300	6,682	22,939	保険料、雑費 9,048
	10組						
	500 (1回あたり)						
はぐはぐサポーター	子育て中の女性	0	0	0	0	0	0
	10						
	0						
小学生ボランティアグループ 港南ケアプラキッズ	小学生	15,706	15,706	0	0	4,664	保険料、雑費 11,042
	30						
	0						
おはなしたまてばこ	地域	0	0	0	0	0	0
	50						
	0						
トマトクラブ	地域	52,604	42,604	10,000	0	30,913	保険料、雑費 21,691
	10						
	1000						
障がい者のための認知症予防教室 「ロールケーキの会」	40歳以上の障がい者	12,110	210	11,900	0	0	保険料、お茶菓子、雑費 12,110
	15						
	100 (1回あたり)						
おやこコンサート 「親と子のカンガルーコンサート」	未就園児親子	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	30組						
	0						
ボランティア交流会	ボランティア登録者	56,757	56,757	0	0	0	昼食・お菓子・雑費 56,757
	50						
	0						
テラスで水遊び	未就学児親子	3,060	1,460	1,600			水遊び用具・保険料 3,060
	15組						
	50 (1回あたり)						

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
横浜市日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家2016 みなみ・夏・まつり	地域	40,821	40,821	0	5,227	2,173	お茶・昼食代・雑費 33,421
	定めず						
	0						
港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつっこ 2016	障がい児と保護者	44,356	(社協助成金31,156円)		30,000	13,396	雑費 960
	8/8/8		0	44,356			
	2500/1000/300						
貸館利用団体説明会 (利用団体交流会)	貸し館利用団体	8,592	8,592	0	0	0	お茶、お菓子 8,592
	50						
	0						
クリスマス作品展	地域	328	328	0	0	0	雑費 328
	20						
	0						
イチゴパフェの クリスマスコンサート	地域	4,000	4,000	0		4,000	0
	80						
	0						
秋のコンサート	地域	17,872	17,872	0	0	0	お茶、雑費 17,872
	100						
	0						
ミニデイサービス 「かっぱの会」	地域の高齢者	75,592	7,342	68,250	0	68,265	保険料 7,327
	25						
	700 (1回あたり)						
3A 認知症予防教室 「そよかぜの会」	地域の高齢者	(包括で管理する)					
	20	0	0	0	0	0	0
	100 (1回あたり)						
お茶飲みサロン	地域の高齢者	(包括で管理する)					
	30	0	0	0	0	0	0
	100 (1回あたり)						
子育て広場	未就学児親子	0	0	0	0	0	0
	定めず						
	0						
赤ちゃん教室	0歳児親子	0	0	0	0	0	0
	定めず						
	0						
傾聴ボランティア 自主活動グループ 「ふじみ会」	傾聴ボランティア 講座終了者	0	0	0	0	0	0
	15						
	0						
自主活動グループ 「気軽に健康体操」	地域	0	0	0	0	0	0
	20						
	2000 (半年分)						
障がい児者理解啓発講座	地域	5,082	5,082	0	5,000	0	雑費 82
	30						
	0						
障がい児のための親子サークル 「めばえ」 音楽であそぼう!	未就学の障害児 と保護者	6,102	6,102	0	0	5,542	保険料・雑費 560
	10						
	0						
子育て世代のための 安全・安心講座 (救急法・防災)	未就学児の保護者	1,680	1,680	0	0	0	雑費 1,680
	30						
	0						
ふるさと日野の むかしばなし	地域	5,000	5,000	0	5,000	0	雑費 0
	50						
	0						
あおぞら ウォーキング	地域	369	369	0	0	0	保険料、雑費 369
	20						
	0						
港南台キャンドルナイト	地域	540	540	0			雑費 540
	定めず						
	0						
高齢者見守り事業 ひまわりホルダー	高齢者	(包括で管理する)					
	300	0	0	0	0	0	0
	300						
		857,078	270,672	586,406	259,250	209,265	388,563

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえサロン 「つばさ会」	<p>(目的) 地域の方々が一緒に歌ったり、交流できる場を提供することにより、閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出できる場としてもらう。若い世代には古くから歌い継がれてきた曲を知ってもらうきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) ・椅子に座ってできる体操 ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・茶話会</p>	毎月第1木曜日 9:30～11:30 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえサロン 「日野南 ハーモニー」	<p>(目的) 閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出ができ、交流が図れる場としてもらう。 デイサービスや夏まつりでの発表などボランティア活動を体験し、生きがいを感じてもらおう。</p> <p>(内容) ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・数曲を集中して練習しハーモニーを楽しむ</p>	毎月第4月曜日 13:00～15:00 年11回 (年12回を予定していたが、荒天の 為8月は中止)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る	<p>(目的) 地域に住む男性の方がセカンドライフを充実させるために、地域の仲間とふれあう機会をもっと増やし、喜び楽しんで共に生きていく仲間を身近に見つける。そして、その中で、お互いに助け合い支えあって、地域のために奉仕する喜びを味わうことができるようになる。</p> <p>(内容) 6月25日「サクセスフルエイジングを目指して」9:30～12:00 7月30日「陶芸」9:00～12:00 8月27日「楽しみとしての謡曲」10:00～12:00 9月24日「大人の健康体操」10:00～12:00 10月22日「公開講座」下記参照 11月26日「料理」9:30～13:00 12月5日「鎌倉歴史散歩」9:45～16:00 共催：いずみの会</p>	6月～11月の 第4土曜日及び 12月5日(月) (下記公開講座 を含み1コース 7回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る (公開講座) 「神話の世界」	<p>(目的) 男のセカンドステージの生き方を探るの公開講座。生涯学習の機会を提供することにより、人生のセカンドステージを充実させて、地域での仲間作りの一助とする。</p> <p>(内容) ・「神話の世界 暮らしの中の神々」 をテーマにした講演会</p>	10月22日(土) 10:00～12:00 年1回

平成28年度自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみの会	<p>(目的) 「男のセカンドステージの生き方を探る」を企画することで地域での仲間作りの一助とし、地域活動に参加するきっかけとする。</p> <p>(内容) ・定例会の開催 ・男性同士の交流 ・講座の企画 ・みなみ・夏・まつり参加</p>	<p>毎月第2金曜日 18:30～20:00 8月1日(月) 年13回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てまなび隊☆ 「はぐはぐ」	<p>(目的) 未就園児の母親が様々な体験を通して子育てについて楽しく学べる講座として実施。情報収集及び情報交換の場として提供。</p> <p>(内容) 9月16日「わらべ歌とふれあい遊び」 9月30日「救急法」 10月21日「カンガルーヨーガ」 11月4日「ヘアカット&アレンジ講座」 11月18日「子育て相談」 12月2日「ひき肉と野菜たっぷりのおかず作り」</p>	<p>9月～12月 金曜日(不定期) 10:00～12:00 1コース6回 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのための 手づくり講座	<p>(目的) 子育て中の母親が、趣味を楽しみながら仲間作りを図り、子育て期を充実させると共に、地域活動、福祉保健活動に関わるきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) 4月28日(わらび餅作り)、5月26日(キッチンプラント) 6月23日(七夕の制作)、7月28日(プールで遊べる玩具作り) 8月25日(夏の工作・うちわ)、9月15日(敬老の日の制作) 10月27日(運動会)、11月24日(クリスマスの制作) 12月22日(正月料理)、1月26日(やさしい刺繍) 2月23日(ひなまつりの制作)、3月23日(アロマクラフト)</p>	<p>毎月第4木曜日 10:00～12:00 年12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はぐはぐ サポーター	<p>(目的) 子育て支援に関わるボランティア活動に参加してもらうことで地域活動、福祉保健活動に関わるきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) ・子育て支援ボランティア ・自主企画講座の開催 ・貸し館を利用したサークル活動など</p>	<p>ケアプラザで実施された子育て支援事業にボランティアとして協力されたが、今年度はメンバー減のため、打合せ等は未実施</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ボランティアグループ「港南ケアプラキッズ」	<p>(目的) 気軽にできる活動を通して、小学生にボランティア・福祉保健活動に関心を持ってもらうきっかけとする。地域のボランティアにサポーターとして活動を支援してもらうことで、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) ・3階テラスの水やり、畑作業 ・ケアプラザ内でのボランティア活動 ・ハロウィンや、凧揚げなどお楽しみ企画</p>	<p>毎月第2日曜日 10:00～12:00 8月は「みなみ・夏・まつり」 (8月1日) 12月27日にボランティア活動を実施) 年13回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなしたまてばこ	<p>(目的) 地域で活動するグループやケアプラザの事業で関わるグループが読み聞かせなどを披露する場を提供。子供から大人まで楽しみながら、ケアプラザを知るきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) ・読み聞かせ ・紙芝居 ・ふれあい遊び など</p>	未実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トマトクラブ	<p>(目的) 外出する機会の少ない高齢者の閉じこもり予防。畑作業を通して仲間づくり、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) ・3階テラスの畑作業 ・乳幼児、小学生や障がい児者の収穫体験の協力</p>	<p>毎月第2,4水曜日 10:00～12:00 (定例会) ※他、不定期開催</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者のための3A「ロールケーキの会」	<p>(目的) 障がいのある方の余暇支援。外出・交流の機会とすると共に、介護予防を図る。ボランティアに協力を仰ぎ、地域住民との交流や理解啓発の機会となる事を目指す。</p> <p>(内容) ・認知症予防講座「3A」 ・茶話会</p> <p>共催：港南区自立支援協議会グループホーム部会</p>	<p>毎月第1土曜日 10:00-12:00 年12回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児のための親子サークル「めばえ」音楽であそぼう!	<p>(目的) 障がいを抱えた子どもと親のための自主活動グループ「めばえ」と共催で仲間づくり、交流の場を企画運営し、グループが安定して活動出来るように支援する。また、ボランティアに協力を仰ぎ、地域住民との交流や理解啓発の機会とする。</p> <p>(内容) ・リトミック ・保護者の茶話会 ・水あそび(8月) ・クリスマス会(12月)</p>	毎月第1土曜日 12:30~15:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主活動グループ「気軽に健康体操」	<p>(目的) 「気軽に健康体操」修了者で結成した自主活動グループが安定した活動が出来るようにする。</p> <p>(内容) ・健康体操 ・グループ運営・経理の管理については活動者が主体となって行う。 ・安定した活動が出来るよう、会場確保、広報等支援をしていく。 ・10月からは一般の活動団体として自立。</p>	毎月第2火曜日 4月~9月 13:30~15:00 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい理解啓発講座「障がいのこと知ってみませんか?」	<p>(目的) 地域住民を対象とした障がい理解啓発講座。地域住民と障がいのある方、家族が地域の一員として知り合い、助け合える関係づくりの一助になる事を旨とする。</p> <p>(内容) 7月14日 障がいの種類・特性と対応について 7月26日 重症心身障がい児者の暮らし 施設紹介と地域との交流について 8月8日 障がいを身近に感じてみよう・目に見えづらい感覚の違いについて 当事者や家族、支援者の話・後見的支援制度について</p>	7月14日(木) 7月26日(火) 8月8日(月) 13:30~15:30 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イチゴパフェ ちょっとはやめのクリスマスコンサート	<p>(目的) 世代を超え、また障がいを持つ方など、日頃コンサートに行くことが難しい方々が音楽を聴き楽しむことができる。</p> <p>(内容) 演奏：イチゴパフェ ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート</p> <p>共催：日野地区民生委員児童委員協議会・日野地区社会福祉協議会・日野南地区民生委員児童委員協議会・日野南地区社会福祉協議会</p>	11月27日(日) 11:00~12:00 年1回

平成28年度自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこコンサート (親と子のカンガルーコンサート)	<p>(目的) 子育て支援の一貫として、普段生の演奏に触れる機会の少ない乳幼児と保護者に、音楽を楽しんでもらう場を提供する。</p> <p>(内容) ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート 共催：日野地区民生児童委員協議会・日野南地区民生児童委員協議会・日野地区社会福祉協議会 日野南地区社会福祉協議会</p>	<p>6月9日(木) 11:00~12:00 年1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>(目的) 日頃よりお世話になっているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝え、活動の定着化を図る。ボランティア間の交流を図る機会とする。</p> <p>(内容) ・自己紹介、活動報告 ・防災講座受講(避難所運営ゲーム) ・昼食を取りながら交流、情報交換 ・避難経路の確認</p>	<p>7月11日(月) 10:00~13:00 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
テラスで水遊び	<p>(目的) 未就学児を対象として親子で一緒に、家庭ではなかなかやりにくい水遊び、手遊びなどの活動を通して親子の触れ合いの大切さを学ぶと共に地域での交流の場を提供する。</p> <p>(内容) ・3Fテラスにプールを出して水遊び ・雨天時は多目的ホールにてふれあい遊び ・協力園の保育士と一緒に子育て支援ボランティアに見守り、準備等で活動してもらう。 協力：港南台保育園(7/25)、赤い屋根保育園(8/5) 港南台第二保育園(8/8)</p>	<p>7月25日(月) 8月3日(水) 8月8日(月) 10:00~11:30 年3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家 2016みなみ・夏・まつり	<p>(目的) 日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家を地域の方、事業所関係者などに知ってもらう機会とする。 ケアプラザの事業等に協力してくださっている方々の活動発表の場。</p> <p>(内容) ・わくわくチャレンジコーナー ・おはなし広場 ・コンサート(3A そよかぜの会、日野南ハーモニー 港南ケアプラキッズのあそびうた、SMI38ショー) ・ポップコーン ・駄菓子、アクセサリーの販売</p>	<p>8月1日(月) 10:00~14:00 年1回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつっこ 2016	<p>(目的) 障がいのある学齢児の長期休日における外出の機会、同年代の子との交流、地域住民と知り合う機会とする。保護者の負担軽減。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月29日 顔合わせのイベント・ボランティア説明会 ・8月5日 ヨガ体操、流しそうめん昼食、音楽とおはなし、保護者と民生委員のお茶べり会 ・8月17日 クッキー作り、パラバルーン (保護者向けプログラム) マッサージ体験、アロマクラフト、ティータイム ・8月18日 なつっこの内容報告、イベント 	7月29日 (金) 10:00～12:30 8月5日 (金) 10:00～15:00 8月17日 (水) 10:00～12:00 8月18日 (木) 10:00～12:00 年4回 (顔合わせ含む)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸館利用団体説明会 (利用団体交流会)	<p>(目的) 平成29年4月の施設利用マニュアル改訂に伴い、施設利用案内を説明。地域ケアプラザの設置木邸を周知し、福祉・保健活動について考え、気軽に取り組んでもらえる様に働きかける。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザの設置目的について ・新施設利用マニュアルの説明 ・福祉保健活動について ・質疑応答 ・登録申込書記入 	12月11日 (日) 12月14日 (水) 13:30～15:00 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス作品展	<p>(目的) 自主活動グループ「布れんど」の作品と、貸し館登録団体で手作りを楽しまれている方たちの作品を展示し、日頃の成果を発表していただくと共に、ケアプラザを訪れる方たちにクリスマスの雰囲気を楽しんでいただく。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階受付カウンター前に貸館登録団体の作品展示 (作品提供団体) 布れんど、布遊会、G-スマイル小物作り マカロン、糸の会、パチパチ 	12月3日 (土) ～12月25日 (日) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キャンドルナイト in 港南台 2016	<p>(目的) 地域のイベントに協力し、他団体との交流、地域ニーズの把握の機会とする。 地域の方にイベントを周知、協力を呼びかけ、自分の暮らす街への愛着を感じる機会とする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルの材料の回収とイベントの周知 ・卵キャンドルと牛乳パックランタンづくり (9月11日 港南ケアプラキッズ) ・南の家利用者によるキャンドル作り ・当日の設営と見守り 主催：キャンドルナイトin港南台2016実行委員会	10月8日 (土) 18:30～20:00 年1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひのみなみ 秋のコンサート	<p>(目的) ・貸館利用団体や自主事業参加者の発表の場をすることでやりがいをもって活動してもらえるようにする。</p> <p>(内容) ・自主事業参加者の活動発表と、音楽・舞踊の貸館利用団体参加のコンサート</p> <p>(出演) 誠鳳流・A銀のくつ・英空会・ココナッツ・日野南ハーモニー・ロールケーキの会・オカリナエメラルド・かりんの木・きさらぎ・棚橋健太郎さん</p>	11月19日(土) 13:00～16:00 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイ サービス 「かっぱの会」	<p>(目的) 外出する機会の少ない高齢者を対象に、様々なプログラムを通して交流の機会を提供していく。 また、家族が認知症家族の会に参加している間に要介護者の方に過ごしていただく場としても利用。</p> <p>(内容) ・健康体操・手工芸・ゲームや麻雀等の趣味活動。 昼食は調理ボランティアが調理・配膳。</p>	毎月第2金曜日 10:00～14:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA認知症 予防教室 「そよかぜの会」	<p>(目的) 地域高齢者を対象に、認知症予防・閉じこもり予防を目的に、様々なプログラムを通して交流の機会を提供していく。</p> <p>(内容) あかるく・あたまを使って・あきらめない(スリーA)の考え方をもとに手遊びや歌、体と脳を同時に動かすプログラムを展開し認知症予防につなげていく。</p>	毎月第1,3木曜日 13:30～15:30 (5月5日はGW中のためお休み) 年23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶飲みサロン	<p>(目的) 日ごろ、外出機会の少ない高齢者の居場所を作り、閉じこもりや認知症を予防していく。</p> <p>(内容) お茶を飲みながらおしゃべりしたり、趣味に合わせてカラオケ、麻雀・囲碁・将棋・手芸など様々なレクリエーションメニューを用意し、趣味を通じて交流する機会を提供した。</p>	毎月第4金曜日 13:00～15:00 年12回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。 又、子育て支援者が養育者の相談に乗ることができる場としての利用。</p> <p>(内容) ・横浜市が委託した子育て支援者が養育者の相談に対応する 主催：港南区福祉保健センター</p>	<p>毎週火曜日 (祝日を除く) 10:00～12:00 年50回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
赤ちゃん教室	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。 日野南1～7丁目で初めての出産を控えている妊婦さん、第一子を出産した養育者の育児相談及び親子の交流, 不安解消ができる場として提供。</p> <p>(内容) ・母乳栄養、離乳食、病気と予防、生活環境など育児に関する相談。 ・参加者同士の交流 主催：港南区福祉保健センター</p>	<p>毎月第4水曜日 10:00～11:30 (8月12月を除く 11月のみ第5水曜日 に変更) 年10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
傾聴ボランティア自主活動グループ「ふじみ会」	<p>(目的) 傾聴ボランティア講座修了者で結成した傾聴ボランティア自主活動グループ「ふじみ会」が安定した活動ができるようにする。</p> <p>(内容) ・傾聴についてワークショップを通じて実践的に学びながら実際に活動をする ・グループ運営、経費の管理については活動者が主体となって行う ・安定した活動が出来るよう、活動場所の確保、高齢デイサービスでのボランティアの窓口として支援する。</p>	<p>毎月第2水曜日 13:00～15:30 (8月を除く) 年11回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て世代の安全安心講座	<p>(目的) 子育て世代の防災意識の向上。 ケアプラザに接する機会の少ない若い父親世代、平日時間の取れない就業中の母親に当館を知り利用してもらうきっかけとする。</p> <p>(内容) 10月29日 10:00～12:00 救急法 11月12日 10:00～12:00 防災の話 講師：港南消防署港南台消防出張所長</p>	<p>10月29日 (土) 11月12日 (土) 10:00～12:00 年2回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小坪小学校 2年生見学会 (福祉学習)	<p>(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。</p> <p>(内容) 館内見学 1月25日・26日 デイ交流打合せ 2月6日 高齢デイ交流 2月21日 「総合的な学習」の一環で、主に高齢者を中心に、障害者やケアプラザについて学ぶことで福祉に関心を持ち、自分達にできる事を考えて行く取り組みに協力。(1組32名、2組32名)</p>	1月・2月 年5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日野南小学校 3年生見学会 (福祉学習)	<p>(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。</p> <p>(内容) 館内見学 2月3日・2月6日 高齢デイ交流 3月7日・3月16日 「総合的な学習」の一環で、主に高齢者を中心に、障害者やケアプラザについて学ぶことで福祉に関心を持ち、自分達にできる事を考えて行く取り組みに協力。(1組33名、2組32名) ・施設紹介、館内見学 ・高齢デイサービスでの交流</p>	2月・3月 年4回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小坪小学校 3年生見学会 (福祉学習)	(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。 (内容) 「総合学習」の一環で、町探検で興味を持った施設をより深く知るために施設を訪問し、館内見学や職員へのインタビューを行う。	7月15日(金) 9:30~10:30 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小坪小学校 4年生見学会 (福祉学習)	(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。 (内容) 「総合的な学習」の一環で、主に高齢者を中心に、障害者やケアプラザについて学ぶことで福祉に関心を持ち、自分達にできる事を考えて行く取り組みに協力。 ・施設紹介、館内見学 ・高齢ディサービスでの交流	9月27日(火) 13:15~14:15 10月7日(金) 11:00~12:00 (館内見学) 10月11日(火) 10月31日(月) 13:15~14:15 (高齢デイ交流) 年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小坪小学校 2年生見学会 (福祉学習)	(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。 (内容) 「総合的な学習」の一環で、主に高齢者を中心に、障害者やケアプラザについて学ぶことで福祉に関心を持ち、自分達にできる事を考えて行く取り組みに協力。 ・施設紹介、館内見学 ・交流会打合せ ・高齢ディサービスでの交流	1月25日(水) 1月26日(木) 10:00~11:00 (館内見学) 2月6日(月) 15:00~16:00 (交流会打合せ) 2月21日(火) 2月23日(木) 13:30~14:30 (高齢デイ交流) 年5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日野南小学校 3年生見学会 (福祉学習)	(目的) 日頃ケアプラザを知る機会の少ない小学生を対象に、ケアプラザを知り、福祉に関心を持ってもらえるようにする。 (内容) 「総合的な学習」の一環で、主に高齢者を中心に、障害者やケアプラザについて学ぶことで福祉に関心を持ち、自分達にできる事を考えて行く取り組みに協力。 ・施設紹介、館内見学 ・高齢ディサービスでの交流	2月3日(木) 10:30~11:30 2月6日(月) 9:30~10:30 (館内見学) 3月7日(火) 3月16日(木) 13:30~14:30 (高齢デイ交流) 年4回

平成28年度 自主事業計画書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日野地域づくり 健康ウォーキング	<p>(目的) 日野地区第3期地域福祉保健計画推進事業。 今年度の取り組み「健康づくりを進めます」 「活動に参加しやすい環境を整えます」の一環として 企画。ウォーキングを通じて日野地域住民の 交流を深める。</p> <p>(内容) 10月19日 「野庭・里山めぐり」 健脚コース / ゆったりコース ケアプラザにて昼食 3月13日 本郷ふじやま公園</p> <p>主催：日野地域づくり連絡会</p>	<p>10月29日 (土) 10:30～13:00 3月13日 (月) 9:00～11:30 年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野団地認知症 予防講座 「ものわすれ予 防と地域で安心 して暮らせる お話」	<p>(目的) 高齢化率が50%を超える日野団地住民を対象に 認知症予防に関する情報提供を行い、 身近な相談機関としてケアプラザを知ってもらう。</p> <p>(内容) 場所：日野団地第一集会所 ・認知症予防講座 ・地域ケアプラザの紹介 ・日野団地の取り組みについて</p> <p>共催：日野団地自治会・日野団地民生委員・日野地区キャ ラバンメイト・日下地域ケアプラザ</p>	<p>11月9日 (水) 13:30～15:30 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふるさと日野の よもやまばなし	<p>(目的) 高齢者から若い世代へ、地域の歴史、言い伝えを聞くこと で、自分の住む地域を知り愛着を感じられるようになること 共に、世代間交流の機会とする。</p> <p>(内容) ・日野・日野南地域の昔の様子やまちの歴史について スライドを見ながら講義を聞く。 港南ケアプラキッズが会場の準備、受付の手伝いを して、子ども達の参加も呼びかけた。</p>	<p>3月29日(水) 10:30～12:00 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら ウォーキング	<p>(目的) ウォーキングを通じての健康維持。自分の住む地域を知る ことで地域に愛着を持ち、仲間づくり、交流の機会とす る。</p> <p>(内容) ・4月3日 桜と緑に誘われて ・7月19日 大岡川から慰霊堂 ・10月25日 日下の古きを訪ねて ・1月23日 舞岡公園を訪ねる 共催：日野地区社会福祉協議会</p>	<p>4月3日 (日) 7月19日 (火) 10月25日 (火) 1月23日 (月) 9:30～12:00 年4回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者見守り事業 ひまわり ホルダー	<p>(目的)</p> <p>高齢者が自宅内や外出中に急に体調を崩した際に、必要な情報を消防や救急隊、警察等に伝えることができ、不測の事態に備えることができる。</p> <p>高齢者がケアプラザで登録することにより、元気なうちから包括支援センターとの関わりを持つことができる。</p> <p>(内容)</p> <p>区内ケアプラザ同時実施。高齢者にホルダーを配布、登録情報をいただき必要時に関係機関に情報提供を行う。</p>	28年10月1日～ 随時

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ミニデイサービス かっぱの会	高齢者	75,596	7,346	68,250	0	71,396	4,200
	25						
	700						
お茶のみサロン	高齢者	30,219	1,319	28,900	0	20,139	10,080
	30						
	100						
スリーA認知症予防教室 そよかぜの会	高齢者	66,838	3,758	63,080	0	50,730	16,100
	25						
	100						
介護者のつどい	地域の方	5,888	5,888	0	5,568	320	0
	47名						
	0						
若年性認知症 港南区のつどい (港南区ケアプラザ、区社協共催)	地域の方	2,200	2,200	0	0	2,200	0
	0						
	0						
権利擁護講座 おとなの遺言講座	地域の方	15,160	15,160	0	15,000	160	0
	23名						
	0						
認知症サポーター スキルアップ講座	地域の方	35,798	35,798	0	33,842	1,956	0
	133						
	0						
ひまわりホルダー	65歳以上高齢者	93,766	63,266	30,500	0	93,766	0
	113						
	300						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイサービス かっぱの会	外出の機会の少ない高齢者の閉じこもり予防や、家族が認知症家族の会に参加している間要介護者に過ごしていただく場として、折り紙等の工作や健康体操、合唱、麻雀などの様々なプログラムを楽しんでいただきボランティアによる手作りの食事を提供する。	毎月第2金曜日 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症家族の会 あひるの会	目的：認知症の方を介護する家族が定期的につどいの場を持ち、介護についての情報と意見交換を行うことで認知症への正しい理解を深め、孤立することなく介護できるようにする。 内容：認知症の方を介護されている方同士で情報交換と近況報告を行う。	毎月第2金曜日 10時～12時 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA 認知症予防教室 そよかぜの会	目的：スリーAの実践を通して認知症予防する。定期的な集いの中で仲間づくりができる。 内容：明るく・あたまを使って・あきらめないを合言葉に認知症予防の実践をする。優しさのシャワーの中で指体操・リズム・太鼓と竹の演奏をしたあとお茶とお菓子を召し上がりながらお仲間との交流を深める。	毎月第1・3木曜日 13:30～15:30 年間24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみサロン	外出の機会の少ない高齢者の活動の場と、趣味を通じた仲間づくりの場としてしてサロンを行っている。参加者の好みに応じて麻雀、カラオケ、ナンプレ、囲碁、将棋等多くのメニューを準備している。	毎月第4金曜日 年間12回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>目的：在宅での介護を継続していけるよう、制度やサービス、医療に関することを介護者の方に知ってもらう。介護に関する相談窓口の周知を行う。</p> <p>内容：①介護いろは塾 高齢者施設の選び方Q&A 講師 甘粕弘志 氏 ②介護いろは塾 薬剤師さんのお薬講座 講師 辻暁子 氏 ③認知症の理解と援助 杉山孝博先生講演会 ④忘れても心は生きてる認知症 講演会 講師 三橋良博 氏</p>	<p>①平成28年5月26日 (木) ②平成28年6月23日 (木) ③平成28年10月31日 (月) ④平成28年11月10日 (木)</p> <p>年間4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おとなの遺言講座	<p>目的：高齢者が地域でより良く過ごしていくために必要な権利擁護の普及啓発を、なじみやすいテーマで行う。</p> <p>内容：地域ニーズの高い遺言相続をテーマに、高齢者の権利擁護について講座形式で学ぶ。 講師 行政書士 塚越豊 氏</p>	<p>平成28年9月8日 (木) 年間1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症 港南区のつどい みなとみな	<p>目的：若年性認知症を抱える本人とご家族が集いの場に参加することで本人は仲間づくりの場として、ご家族は介護者同士の情報交換と医療職や家族介護経験者からアドバイスをもらえる場として活用していく。</p> <p>内容：(本人の部) 昼食の買い出し、音楽レク、おやつ作りなどを通して仲間と関わっていく。 (家族の部) 近況報告、先輩介護者や医療職からの助言、情報交換 *港南区内ケアプラザ、区社協共催</p>	<p>平成28年9月4日 (日) 平成29年2月4日 (日) 年間2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポータースキルアップ講座	<p>目的：認知症についての知識、接し方、家族介護者の体験などサポーター講座の内容をより深めて理解し、地域の中で認知症の人と家族が安心して暮らしていくことができるような活動に繋げてもらうことを目的とする。</p> <p>内容：①畑の取り組み：港南区社協 ②認知症の理解と援助杉山孝博先生講演会 ③忘れても心はいきてる認知症講演会 ：三橋良博氏 ④認知症の人との接し方：西尾美和氏 ⑤認知症予防カフェについて：洋光台えんがわ</p>	<p>①平成28年10月13日 (木) ②平成28年10月31日 (月) ③平成28年11月10日 (木) ④平成28年11月24日 (木) ⑤平成28年12月8日 (木) 全5回講座</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者虐待防止研修	<p>目的：高齢者虐待について福祉保健関係者に基本的な知識を持ってもらい、早期発見と悪化防止に繋げる。</p> <p>内容：港南区社福士分科会で共催。 パワーポイントを使用し高齢者虐待について学ぶ。</p> <p>①港南中央地域ケアプラザ ②港南区訪問介護連絡会 ③すずかけの郷職員対象 ④下永谷地域ケアプラザ</p>	<p>①平成28年8月30日 (火) ②平成28年10月24日 (月) ③平成28年11月29日 (火) ④平成29年1月26日 (木) 年間4回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (地域向け)	<p>目的：認知症になっても住みやすい地域を作るため、認知症理解普及啓発の一環として認知症サポーター講座を実施する。 企画運営に関しては地域のキャラバンメイトと協力して進める。</p> <p>内容：認知症サポーター養成講座 ①日野町内会 ②日野住宅地自治会 ③日野第三町内会 ④日野南ささえあい連絡会 ⑤原南自治会 地域のキャラバンメイト、地区民児協、各自治会町内会 地区社協等の地域の団体と共催。</p>	<p>①平成28年6月11日 (土) ②平成28年6月29日 (水) ③平成28年7月7日 (木) ④平成28年9月10日 (土) ⑤平成28年10月2日 (日) 年間5回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (学校向け)	<p>目的：認知症になっても住みやすい地域を作るため、認知症理解普及啓発の一環として認知症サポーター講座を実施する。 企画運営に関しては地域のキャラバンメイトと協力して進める。</p> <p>内容：小学生、中学生、高校生の理解に合わせた認知症サポーター養成講座 ①日野南中学校 (2年生) ②日野小学校 (全校) ③日野南小学校 (5年1組、2組) ④小坪小学校 (4年生) ⑤南陵高校 (福祉コース1年生)</p>	<p>①平成28年7月6日 (水) ②平成28年10月3日 (月) ③平成28年10月5日 (水) ④平成28年10月28日 (金) ⑤平成29年2月7日 (火) 年間5回6講座実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	<p>目的：地域の町内会館等で行なわれているサロンやイベントなどに参加し、参加者から相談を受付ける。 参加者に包括支援センターの役割についてPRする。</p> <p>内容：(定期) 日野地区、日野南地区民児協 日野地区社協福祉ネット会議 日野第一連合五楽会 日野町内会開放日 野村港南台港南つつじヶ丘おしゃべりくらぶ 日野第三町内会笑福会 金井町内会開放日 こでまり福祉ネットワーク 日野南ささえあい連絡会 (単発) 日野地区チャリティバザー J A日野農協まつり 等</p>	年間72回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひまわりホルダー事業	<p>目的：65歳以上の高齢者が外出先等で体調不良なった場合、あらかじめ登録しておくことで緊急連絡先の家族に円滑に連絡が取れるようにする。 元気なうちからケアプラザを知っておいてもらい、いざという時相談しやすい関係を作る。</p> <p>内容：ひまわりホルダーの登録と登録情報の保管、緊急時保管情報の適切な提供。</p>	<p>随時 (平成28年 10月1日より)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野南介護保険事業所虐待防止勉強会	<p>目的：地域の介護保険事業所同士顔見知りになり、共に学び合うことで地域のネットワーク構築を目指す。虐待防止について学び、虐待の早期発見に繋げる。</p> <p>内容：高齢者虐待の基礎知識について講義 事業所の紹介 包括支援センターより情報提供を行う。</p>	<p>平成29年1月27日 (金) 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化事業	<p>目的：住み慣れた地域で過ごせる為に、介護予防の基礎知識（ロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防）の理解と実践をする。</p> <p>内容：①脳活性化いきいきゲーム ②健康体操2016 ③認知症予防&ウォーキング ④教えて！介護予防 ～専門職に聞いちゃいます～ ⑤みんな集まれ！健康体操</p>	<p>①平成28年5月17日 (火) 31日 ②平成28年6月6日 6月13日・20日 (月) ③平成28年 10月7日 21日・11月4日 (金) ④平成28年11月2日 9日・16日(水) ⑤平成29年1月16日 1月13日(月)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防事業	<p>目的：日頃の生活で介護予防を意識し出来る事の実践することができる。</p> <p>内容：①介護予防健康講座 ②げんきでいるゾウ！健康体操教室 ③本山式 椅子を使って行う 筋トレ ④腰痛について学ぼう</p>	<p>①平成28年4月21日 ②平成28年11月 5日・25日 ③平成29年 1月～3月 毎週木曜日 (全11回) ④平成29年2月13日</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーの懇談会	(目的) 民生委員とケアマネジャーが顔の見える関係を作り、情報交換などを行い、地域での支援に役立てていく。 (内容) 地域で活動する民生委員とケアマネジャーの懇談会	平成29年2月15日 (水)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数